

水稻情報 (第5号)

令和7年7月3日
あおば農業協同組合
各地区農業技術者協議会

○7月1日現在、コシヒカリの草丈、葉齢、葉色は平年並み、茎数は平年に比べやや少なめに推移しており、幼穂形成期は5月10日植えて7月9日頃、出穂期は7月31日頃と予想されます。

○コシヒカリの分施肥体系の場合は、幼穂形成期8日後の生育状況に応じて、穂肥を施用しましょう。

基肥一発施肥体系の場合は、出穂7～10日前に葉色を確認し、葉色が薄い場合は追加穂肥を行いましょう。

○斑点米カメムシ類が大発生しています。草刈りと防除の徹底で斑点米の発生を防止しましょう。

1. コシヒカリの生育状況

表. あおば管内のコシヒカリ生育状況 (7/1現在、() は予測値)

調査年	田植日	草丈 (cm)	茎数		葉齢	葉色	幼穂 形成期	出穂期
			本/株	本/m ²				
R7	5/11	60.9	23.0	477.6	11.0	4.1	(7/9)	(7/31)
R6	5/11	59.4	26.5	532.0	11.1	4.1	7/9	7/31
H27～R6平均	5/10	58.2	24.5	500.8	11.0	4.1	7/9	7/31

2. コシヒカリの穂肥施用

～適切な穂肥で収量と品質を確保～

○基肥一発施肥体系の場合

- ・出穂7～10日前(右図参照、7/21～24)に葉色を確認し、葉色が4.0(砂壤土4.2)以下と薄い場合は、出穂3日前までに追肥3号で5～7kg/10aを施用しましょう。

○分施肥体系の場合

- ・施用前に幼穂形成期(幼穂長2mm)を確認し、時期を判断しましょう。
- ・穂肥は、幼穂形成期の8日後(幼穂長15mm、右写真)の生育状況に応じて下表のとおり施用しましょう。

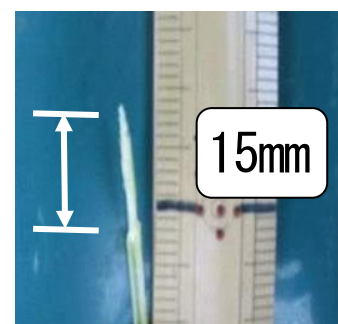


写真 分施肥体系の穂肥施用判断時期

表. 分施肥体系における穂肥(追肥3号)の目安

幼穂形成期の 8日後の生育状況		1回目		2回目	
		施用時期	施用量 (kg/10a)	施用時期	施用量 (kg/10a)
適正	草丈 85 cm未満 茎数 430 本/m ² 程度 葉色 3.6 程度	幼穂長 15 mm (幼穂長 2 mm確認 8日後)	10	1回目の 7日後	10～13
やや 過剰	草丈 85 cm以上 90 cm未満 茎数 480 本/m ² 程度 葉色 3.8 程度	幼穂長 20 mm (幼穂長 2 mm確認 10日後)	5～7	1回目の 7日後	10～13
過剰	草丈 90 cm以上 茎数 500 本/m ² 以上 かつ葉色 3.8 以上	施用しない		幼穂長 2 mm確認か ら 15 日頃 (出穂 7 日前頃)	10～13

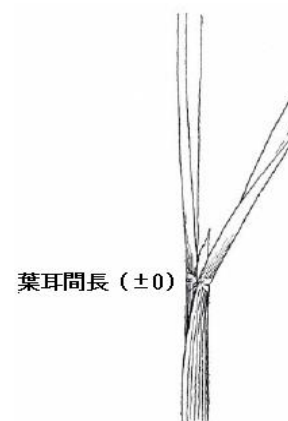


図 基肥一発施肥体系の追加穂肥施用判断時期

止葉の葉耳(葉の付け根)とその下の葉の葉耳が同じ高さにある時期(葉耳間長±0)が出穂10日前の目安です

3. てんこもりの穂肥施用

てんこもりの幼穂形成期は7/14頃、出穂期は8/5頃(5/15植え)と予想されます。

○分施肥体系の場合

- ・穂肥の1回目は幼穂形成期(幼穂長2mm: 7/14頃)、2回目はその10日後に、追肥3号を10～13kg/10aずつ施用しましょう。

○基肥一発施肥体系の場合

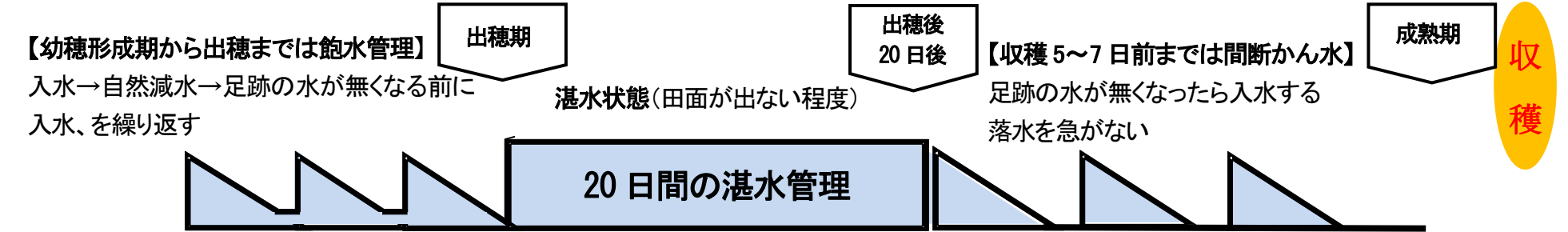
- ・幼穂形成期頃の葉色が4.0(砂壤土:4.2)以下の場合は、速やかに追肥3号を7kg/10a施用しましょう。

熱中症対策や刈払機での作業時の安全確保等、安全対策に留意しましょう。

うら面に
続く

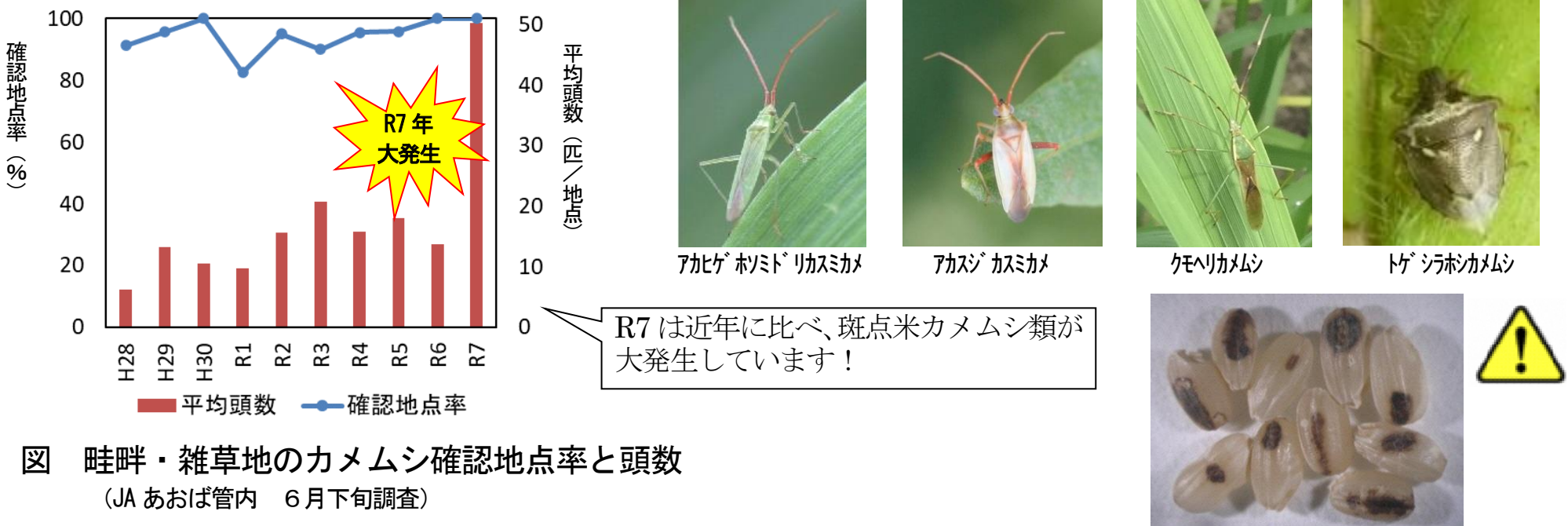
4. 今後の水管理

～フェーンや高温が予想されるときは事前に入水～



カメムシ対策 第5回

～カメムシ大発生！草刈りと防除の徹底を～



- イネ科雑草の穂が出る前に草刈り等を行いましょう(約3週間間隔)。
- ※ほ場内のヒエ等も穂が出る前に抜き取りましょう。
- やむを得ず穂の出ている雑草を刈る場合は、本田の薬剤防除の直前に行いましょう。
- 農薬散布は下表を参考に水稻の出穂状況を確認して行いましょう。防除間隔は7日を目安とし、10日以上あけないようにしましょう(表)。

表 防除時期の目安(平坦地) ～穂揃期+傾穂期の2回防除を徹底！～

品種 (田植時期)	てんたかく (連休植え)	コシヒカリ (5/10 植え)	てんこもり (5/15 植え)	薬剤名、散布量		対象病害虫
出穂予想	7/15～7/17	7/30～8/1	8/4～8/6			
1 回目 穂揃期	7/18～7/20 ↓ 7 日後	8/2～8/4 ↓ 7 日後	8/7～8/9 ↓ 7 日後	粉剤	ビームスタークル粉剤 5 DL 4 kg/10a (収穫 7 日前まで)	いもち病 カメムシ類 ウンカ類
				液剤	ビームエイトスタークルゾル 1,000 倍 100～150ℓ/10a (収穫 7 日前まで)	
2 回目 傾穂期	7/25～7/27	8/9～8/11	8/14～8/16	粉剤	キラップ粉剤 D L 4 kg/10a (収穫 14 日前まで)	カメムシ類 ウンカ類
				液剤	キラップフロアブル 1,000 倍 100～150ℓ/10a (収穫 14 日前まで)	
3 回目 (多発時) 【随時】	収穫 7 日前 まで	収穫 7 日前 まで	収穫 7 日前 まで	粉剤	スタークル粉剤 D L 3 kg/10a	カメムシ類 ウンカ類
				液剤	スタークル液剤 10 1,000 倍 100～150ℓ/10a	

○農薬は使用基準を守って、正しく使用しましょう。また、風の無い時間帯に均一に散布して下さい。

【粒剤体系(コシヒカリの場合)】

- 1 回目 : 7/22 頃(出穂 5～10 日前)にワイドパンチ豆つぶ(250 g/10a)を湛水してから散布する。
- 2 回目(随時): 8/1 頃(穂揃期)にスタークル豆つぶ(250g/10a)を湛水してから散布する。

畦際まで薬剤が
かかるように
散布しましょう！



農薬危害防止運動実施中！(4/1～9/30)

- 住宅地周辺で散布する時は事前に周知し、飛散防止を徹底
- 使用前には必ずラベルで作物名・使用方法等を確認
- 農薬は適切に保管・管理し、使用した場合は必ず記帳
- 農薬を調整・散布する時は、マスクなど防護装備を正しく着用